

学科名	学年	授業のタイトル (科目名)	
工業専門課程 情報処理システム科	1	現代社会論	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	伊勢本 勝一	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
<ul style="list-style-type: none"> ・IT系企業において約30年間、SEとして担当～マネージャに従事 ・主に保険会社の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当 ・データベース設計～構築、サーバサイドAP開発～テスト、UNIX系OSのサーバ構築を実施 ・業務改革の要求分析～コンサルテーションを実施 			
単位数 (授業の回数)	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 (30 回)	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
<p>基本情報技術者試験の「法務と標準化」分野について学ぶ。 データサイエンスの基礎を学ぶ。</p>			
[授業全体の内容の概要]			
<p>①法務と標準化 ②データサイエンス</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
各種用語について説明ができる			
[準備学習の具体的な内容]			
復習：講義で説明した用語について説明できるようにする。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト データサイエンス入門 参考文献 IT戦略とマネジメント		試験・課題、出席日数が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験・課題の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の3分の2以上の出席が必要。 評価基準 課題の提出 30%、定期試験 70%	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	オリエンテーション (授業の予定)		
2回	企業と法務 (知的財産権)		
3回	企業と法務 (セキュリティ関連法規)		
4回	企業と法務 (労働関連・取引関連法規の請負契約と委任契約)		
5回	下請法, 電子消費者契約法		

6回	労働関連演習, その他の関連法規
7回	企業と法務 (コンプライアンス, 標準化)
8回	まとめと振り返り
9回	データサイエンスの概要, 情報倫理
10回	データ分析の基礎 0 (記述統計量)
11回	データ分析の基礎 1 (ヒストグラム)
12回	データ分析の基礎 1 (箱ひげ図)
13回	データ分析の基礎 3 (散布図)
14回	データ分析の基礎 4 (相関係数)
15回	まとめと振り返り
16回	データ分析の基礎 5 (回帰直線)
17回	データ分析の基礎 6 (相関関係/因果関係) 1
18回	データ分析の基礎 6 (相関関係/因果関係) 2
19回	データ分析の基礎 7 (観察, 標本調査)
20回	データサイエンスの手法 1 (クロス集計)
21回	データサイエンスの手法 2 (回帰分析) 検定
22回	まとめと振り返り
23回	データサイエンスの手法 2 (回帰分析) 主成分分析
24回	データサイエンスの手法 3 (ベイズ推論)
25回	データサイエンスの手法 4 (アソシエーション分析)
26回	データサイエンスの手法 5 (クラスタリング)
27回	データサイエンスの手法 6 (決定木)
28回	データサイエンスの手法 7 (ニューラルネットワーク)
29回	データサイエンスの手法 8 (機械学習とAI)
30回	まとめと振り返り